



# 上川井だより

## 12月号

令和5年11月30日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

### みんなが主役であるために

校長 山崎 真紀子

暖かい日が続いていましたが、風が冷たくなり冬の寒さが身に染みる頃となりました。

先日は、上小フェスティバルをご参観いただきありがとうございました。今年のテーマは、「知りたい、やりたい、伝えたい～みんなが主役!!GOGO スマイル☆彡～」でした。どの学年も、観る人に楽しんでもらおうと工夫を凝らしていたのが印象的です。学年が上がるにつれ、表現力も豊かになり、観客を意識した演出となっていました。一人一人が役割をもち、みんなで作り上げた、まさに「みんなが主役」で「スマイル」いっぱい時間になりました。フェスティバルを終えて、どの子も充実した笑顔で満足そうでした。表現力が高まったことに加えて、感心したことは、子どもたちの合意形成の在り方です。発表した中で6年生は、歴史で学んだことをもとに世の中の移り変わりを演劇で表現しました。脚本や配役、大道具・小道具の準備、演出に至るまで自分たちで作り上げた劇です。劇中、戦でけりをつけようと刀を抜く武将に「え、戦わないよ。けんかになりそうときは、話し合って解決するって先生に教わったもん。」というセリフがありました。本番までの過程でも、子どもたちは、意見を出し合い、時に譲り合ったり気付いたことを伝え合ったりしながら合意を図っていったようです。本校は、少人数で互いを分かりあっている反面、遠慮して自分を出し切れない場面もあるように思います。こうした行事を通して、我慢するのでも自分の思いを押し通すのでもなく、互いに意見を交換し合って、納得できる結論を導き出す経験を重ねていくことはとても大切な学びであるように思います。「みんなが主役」という言葉に子どもたちのそうした意気込みを感じました。11月は、ほかにも、わかば交流や音楽会、幼稚園との交流、校外学習など、さまざまな体験や交流の機会がありました。「知る、やってみる、伝え合う」ことを通し、これからも、互いに納得できる合意を図る姿勢を身に付けていってほしいと願っています。

\*\*\*\*\*

#### ☆おめでとうございます☆

横浜市の優秀な児童作品を集めた「文集よこはま」には、国語の学習で学んだことを生かした作文や詩、感想文やレポートなどが掲載されています。

毎年学校代表の作品を応募していますが、今年度、田中睦子さんの作品が最優秀の市長賞を受賞しました。年度の終わりに応募するため、選ばれたのは、4年生の時の作文です。題名は、「チャレンジ」。オムライスづくりに挑戦した時のきっかけや揺れ動く気持ち、次第に上手にできるようになるまでの葛藤を豊かに描いた作品です。睦子さんの「知りたい、やりたい、伝えたい」がこの作文の中にもたくさん詰まっています。

睦子さん、おめでとうございます。これからもチャレンジし続けていってください。

